

■ 北海道立文学館 5年間の歩み ■

展覧会事業

年度	題 名	開 催 期 間	会 場	観覧者数
H 7 年 度	特別企画展 「北の夜明け」 ～海峡を越えた探検家・紀行家たち～	9月23日(土)～11月3日(金) (36日間)	当館特別展示室	3,983人
	所蔵品展 「私の愛した抒情詩人たち」 ～高橋留治・詩集コレクションから～	平成8年 1月16日(火)～3月17日(日) (54日間)	当館特別展示室	951人
H 8 年 度	特別企画展 「北海道の俳句」 ～戦後50年の歩み～	5月24日(金)～6月30日(日) (33日間)	当館特別展示室	1,249人
	特別企画展 「久保栄と北海道」 ～激動の時代を生きた劇作家の軌跡～	10月1日(火)～11月10日(日) (34日間)	当館特別展示室	1,248人
	所蔵品展 「船山馨の文学世界」	平成9年 1月14日(火)～3月16日(日) (52日間)	当館特別展示室	1,660人
H 9 年 度	特別企画展 「森田たまと素木しづ」 ～しなやかに煌く感性のかたち～	4月29日(火)～6月8日(日) (37日間)	当館特別展示室	1,465人
	特別企画展 「青春と文学」	9月27日(土)～11月7日(金) (34日間)	当館特別展示室	1,444人
	所蔵品展 「書簡に探る作家の素顔」	平成10年 1月17日(土)～3月8日(日) (43日間)	当館特別展示室	784人
H 10 年 度	特別企画展 「北海道の短歌」	4月25日(土)～5月31日(日) (33日間)	当館特別展示室	1,034人
	特別企画展 「有島武郎とヨーロッパ」 ～ティルダ、まだ僕のことを覚えていますか～	8月8日(土)～10月11日(日) (56日間)	当館特別展示室	2,860人
	企画展 「吉田一穂とその時代」 ～現代詩の極北をめざす～	平成11年 2月6日(土)～3月20日(土) (36日間)	当館特別展示室	907人
H 11 年 度	特別企画展 「夏目漱石と芥川龍之介」	8月7日(土)～9月5日(日) (26日間)	当館特別展示室	3,820人
	特別企画展 「〈本〉はどこに向かうのか」 ～活字本からデジタルへ～	9月25日(土)～12月5日(日) (58日間)	当館特別展示室	1,196人
	所蔵品展 「本庄陸男と『石狩川』」	5月1日(土)～6月20日(日) (41日間)	当館特別展示室	1,363人
	※企画展 「北欧叙事詩『カレワラ』の光彩」 ～中野北溟の書作による神話世界～	9月8日(水)～9月19日(日) (11日間)	当館特別展示室	1,939人
	※企画展 「VISUAL POETRY 2000 in 札幌」 ～〈視る詩〉の場所(トポス)へ～	平成12年 2月5日(土)～2月17日(日) (10日間)	当館特別展示室	561人

教育・普及事業

年度	題 名	開 催 期 間	会 場	観覧者数
H 7 年 度	※母と子の文学のつどい 「ようこそ賢治の教室へ」	平成8年 3月26日(火)～ 4月7日(日) (12日間)	当館特別展示室 及び講堂	999人
	宮沢賢治をめぐる連続講座 「かわいい賢治の歌のわかれ」 加藤多一(児童文学者) 「〈賢治語〉の、ひみつ」工藤正廣(北海道大学教授) 『せはせはしく明滅する』詩 斉藤征義(詩人) 「〈語り〉の構造ー童話から少年小説へー」 柴村紀代(児童文学者)	3月26日(火) 3月29日(金) 4月2日(火) 4月5日(金)		受講総数 230人
H 8 年 度	たんけん文学館 「手島圭三郎の絵本の世界」(絵本原画展) (付帯事業) 「手作り絵本教室」 手島圭三郎(版画家)	8月2日(金)～ 8月18日(日) (15日間) 8月9日(金)、11日(日)	当館特別展示室 当館講堂 当館特別展示室	2,417人 120人 341人
	※母と子の文学のつどい 「作るよろこび、知るたのしみ」 連続講座「子どもの文化を考える」 「マルチメディアと子どもの文化」 吉村 匠(北海道新聞社情報開発本部勤務) 「まどみちおの世界」 木村 雅信(札幌大谷短期大学教授) 「戦後まもなくの北海道絵本」 谷 映子(北星女子短期大学教授) 「子どもを育てるわらべ唄」 佐藤 志美子(ひまわり保育園園長)	平成9年 3月18日(火)～29日(日) (10日間) 平成9年 3月18日(火) 3月22日(土) 3月25日(火) 3月29日(土)	当館講堂	受講総数 102人
H 9 年 度	たんけん文学館 「北の大地の動物たち」(絵本原画展) (付帯事業) 「手づくりうちわ教室」 「動物絵本との出会い」(講演) あべ弘士(絵本作家)	7月26日(土)～ 8月17日(日) (20日) 7月30日(水)、31日(木) 7月30日(水)	当館特別展示室 当館講堂 当館講堂	2,259人 90人 50人
	※母と子の文学のつどい 「絵本からとびだしたお友だち」 アニメ映画上映会 「トムとジェリーの大冒険」	平成10年 3月14日(土)～28日(土) (12日間) 3月14日(土)	当館特別展示室 当館講堂	1,109人 71人
H 10 年 度	ファミリー文学館(たんけん文学館を改称) 「エッチングでさし絵づくり」(講習会) (付帯事業) 大井戸百合子(銅版画家)	7月25日(土)～30日(木) (5日間) 平成11年 1月9日(土)～17日(日) 1月9日(土)・10日(日)	当館講堂 当館講堂 当館特別展示室 及び講堂	80人 465人 26人
	※母と子の文学のつどい 「大井戸百合子・銅版画による絵本原画とさし絵展」 (作品解説とワークショップ) 大井戸百合子(銅版画家)	1月9日(土)～17日(日) (7日間)		491人
H 11 年 度	ファミリー文学館 「ぼくもわたしも絵本作家」(ワークショップ) 萩原睦子(手作り絵本作家)	7月25日(日)～30日(金) (4日間)	当館講堂	38人
	「たかどのほうこ・子どもの本の世界」(絵本原画展) (付帯事業) 「わくわく・へんてこランド」たかどのほうこ(作家) 岸田典大(絵本パフォーマー)	平成12年 1月8日(土)～23日(日) (14日間) 1月16日(日)	当館特別展示室 当館講堂	1,076人 351人
	※わくわく・子どもランド (母と子の文学のつどいを改称) 絵本読み聞かせ、人形劇などを実施	平成11年5月～ 平成12年3月 毎月第2土曜日に 12回実施	当館特別展示室	981人

講演会・セミナー等事業

年度	題 名	開 催 期 間	会 場	観覧者数
H 7 年 度	文芸講演会 「金子光晴『鬼の児』の詩学」 河邨文一郎(詩人)	平成8年2月10日(土)	当館講堂	120人
	文芸セミナー 「近藤潤一の俳句」 菱川善夫(北海学園大学教授)	12月2日(日)	当館講堂	90人
	「船山馨の文学」 神谷忠孝(北海道大学教授)	平成8年1月20日(土)	当館講堂	80人
H 8 年 度	文芸講演会 「俳句-そのめぐり合い-」 星野紗一(俳人)	6月22日(土)	当館講堂	90人
	「久保栄回想」 山下 肇(東京大学名誉教授)	10月19日(土)	当館講堂	70人
	文芸セミナー 「中野重治と北海道の作家たち」 澤田誠一(作家)	7月13日(土)	当館講堂	90人
	「小説ができるまで」 小檜山博(作家)	10月5日(土)	当館講堂	80人
	「文学に見る北海道の女性たち」 藪 禎子(近代文学研究家)	11月17日(日)	当館講堂	50人
	「船山馨の文学資料をめぐって」 平原一良(当館事業課長)	平成9年2月1日(土)	当館講堂	60人
	※講演会 「ソウル・私・サッポロ-この一年間のこと-」 李恢成(作家)	10月10日(木)	当館講堂	90人
	「昭和22年・本道出版ブームと疎開系出版社の活動」 平澤秀和(近代文学研究者)	10月26日(土)	当館講堂	52人
	「私と小説」 渡辺淳一(作家)	平成9年3月26日(木)	ホテルライフオー ト札幌大ホール	680人
	文芸映画上映会 「安部公房の世界」 「砂の女」	11月2日(土)	当館講堂	440人
	「他人の顔」	11月9日(土)		
	「燃えつきた地図」	11月16日(土)・30日(土)		
	「フィルムレクチャー 安部公房と映像」 高橋世織(早稲田大学教授)	11月16日(土)	当館講堂	90人
H 9 年 度	文芸講演会 「素木しづとその生き方」 沖藤典子(作家)	5月24日(土)	当館講堂	83人
	「小説を書くとき」 見延典子(作家)	10月18日(土)	当館講堂	97人
	文芸セミナー 「風土(北海道)と文学 -小熊秀雄・三浦綾子を中心に-」 黒古 一夫(文芸評論家)	7月5日(土)	当館講堂	62人
	「人の知らない草の名を-子ども・文学・音楽」 松居スーザン(作家)	9月6日(土)	当館講堂	45人
	「北海道の現代俳句」 園田夢蒼花(俳人)	11月1日(土)	当館講堂	92人
	「島木健作の書簡などを読む」 田沢義公(当館学芸員)	平成10年1月24日(土)	当館講堂	25人
	「青春と文学を語る」 辻 仁成(作家)	5月30日(金)	札幌パークホテル	763人
	連続講座「有島武郎が生きた時代」 「北海道取材作とその周辺」 神谷忠孝(北海道大学教授)	平成10年2月7日(土)	当館講堂	52人
	「大正のユートピア思想と有島武郎」 中山昭彦(北海道大学助教授)	2月14日(土)	当館講堂	48人
	「『或る女のグリンプス』と大逆事件」 高山亮二(星座の会会長)	2月28日(土)	当館講堂	65人

年度	題 名	開 催 期 間	会 場	観覧者数
H 10 年 度	文芸映画上映会			
	「白痴」	6月21日(土)	当館講堂	130人
	「丹下左膳余話 百万両の壺」	6月28日(土)		
	「オズの魔法使い」	11月8日(土)		
	「博士の異常な愛情」	11月15日(土)		
	「フィルムレクチャー キューブリックと60年代の映像」	11月15日(土)	当館講堂	56人
	高橋世織(早稲田大学教授)			
	※子どものための野外アニメ鑑賞会			
	「ドン松五郎の生活」	7月19日(土)	サンクンガーデン	
	文芸講演会			
	「アララギの歌人たちと北海道」 宮地伸一(歌人)	5月23日(土)	当館講堂	184人
	「スイスにおける日本文化の受容史」	8月8日(土)	当館講堂	38人
	ルネ・シュペヒト			
	(スイス・シャフハウゼン市立図書館長)			
	「有島武郎とわたし」	9月12日(土)	当館講堂	87人
	永畑道子(作家・熊本近代文学館長)			
	文芸セミナー			
	「俳句で考えたこと」 辻脇系一(俳人)	7月4日(土)	当館講堂	62人
	「有島武郎と札幌の家」 前川公美夫(有島研究家)	8月22日(土)	当館講堂	69人
	「風土に育つ文学」 鳥居省三(釧路短期大学教授)	10月24日(土)	当館講堂	21人
	「吉田一穂の遺したもの」 平原一良(当館事業課長)	平成11年3月13日(土)	当館講堂	45人
	※講演会等			
「有島武郎生誕100年記念事業」	8月9日(日)	札幌芸術の森	61人	
シンポジウム「有島武郎とスイス」 R・シュペヒト		レクチャールーム		
(スイス・シャフハウゼン市立図書館長)				
神谷忠孝(北海道大学教授)				
ハイコ・ナロック(北海道大学助教授)				
高山亮二(星座の会会長)				
平原一良(当館事業課長)				
作品鑑賞のつどい第1回「『星座』を読む」	8月23日(日)	当館講堂	45人	
藪 禎子(近代文学研究者)				
講座第1回「有島武郎のアメリカ」	9月5日(土)	当館講堂	55人	
栗田廣美(白梅学園短期大学教授)				
音楽と朗読の夕べ				
「有島武郎が聴いたティルダの歌声」	9月11日(金)	地階ロビー	79人	
vo 浅里いづみ、p 浅井智子				
講座第2回「新渡戸稲造・内村鑑三と有島武郎」	9月26日(土)	当館講堂	95人	
高山亮二(星座の会会長)				
作品鑑賞のつどい第2回				
「『カインの末裔』を読む」	9月27日(日)	当館講堂	66人	
工藤正廣(北海道大学教授)				
文学館フォーラム「有島文学の現代性」	10月3日(土)	札幌時計台講堂	96人	
神谷忠孝(北海道大学教授)				
井上理恵(吉備国際大学助教授)				
中山昭彦(北海道大学助教授)				
山田俊治(横浜市立大学助教授)				
※吉田一穂生誕百年記念事業関連特別講演会				
「白鳥古丹と吉田一穂」 添田邦裕(詩人)	平成11年2月6日(土)	当館講堂	54人	
映像作品鑑賞のつどい				
「氷点」	6月21日(日)	当館講堂	56人	
「幻の光」	6月28日(日)	当館講堂	15人	
「華の乱」	11月7日(土)	当館講堂	50人	

年度	題 名	開 催 期 間	会 場	観覧者数
H 11 年 度	フィルムレクチャー 「映画創成期とアヴァンギャルド映画」 中島 洋(シアターキノ代表)	11月14日(土)	当館講堂	78人
	文芸講演会 「夏目漱石と世紀末」 小森陽一(東京大学教授)	8月7日(土)	道立近代美術館 講堂	312人
	「マー兄ちゃんのちょっといい話」 北野 大(淑徳大学教授)	9月29日(水)	ホテル ライフォート札幌	450人
	文芸セミナー 「岩出山土族の自費移住について」 坂田資宏(歌人)	5月22日(土)	当館講堂	163人
	「アイヌ語・言葉の位牌を背負った者の一人として」 萱野 茂(萱野茂二風谷アイヌ資料館館長)	7月17日(土)	当館講堂	74人
	「展示解説 デジタル化する本の世界」 青柳文吉(当館学芸員)	10月16日(土)・11月3日(水)	当館特別展示室	42人
	「伝統川柳と現代川柳のはざま」 斎藤大雄(川柳作家)	平成12年2月5日(土)	当館講堂	114人
	※特別講演会 「歴史の舞台と私」 吉村 昭(作家)	10月22日(金)	函館市芸術ホール	525人
	「開拓地の思想」 池澤夏樹(作家)	11月19日(金)	旭川市大雪 クリスタルホール	213人
	※講演会等 「一日全講 本庄陸男『石狩川』を読む」 工藤正廣(北海道大学教授)	6月6日(日)	当館講堂	35人
	「『我が輩は猫である』と夏目漱石」 高橋康雄(札幌大学教授)	8月28日(日)	当館講堂	116人
	「カレワラ・・・北の風土から芽ぶくもの」 原子 修(札幌大学教授)	9月12日(日)	当館講堂	137人
	「対論(視覚)の時代を越えて・・・」 山口昌男(札幌大学学長) 村上善男(美術家・詩人) 支倉隆子(詩人) 野坂政司(北海道大学教授)	平成12年2月6日(日)	当館講堂	61人
	映画作品鑑賞のつどい 「大地の侍」	6月5日(土)・19日(土)	当館講堂	267人
	「それから」	11月20日(土)	当館講堂	72人
	「南京の基督」	11月27日(土)	当館講堂	110人

※印の事業は財団の独自企画事業を示す